



2019 年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます

理事長 今 中 正 浩



旧年中は当院の運営に格別のご理解とご支援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。有り難うございました。

本年も法人理念である「命をつなぎ、つないだ命をつなぐ」を念頭に、患者さんの為の医療を実践し、医療を通して社会に貢献することを最大の目的とし、職員一同努力してまいりますので、更なるご支援ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

患者さんの為の医療の実践は、医療機関としては「当たり前（＝普通）」のことで、これまでも当院が日々の臨床で努めてまいりました。

私達は、当たり前（＝普通）のひとつ上を目指すことと致します。

その一つとして、病気や怪我になりにくい身体作りと、病気や怪我になっても治り易い身体作りのための支援も進めてまいります。このことは、健康寿命（平均寿命のうち健康で自立した生活を送ることのできる期間）を延ばし、平均寿命と健康寿命の差を短くする取り組みとなります。

そのためには齋藤記念病院が専門とする領域での医療に加えて、健康増進や予防医学を含めた医療の提供が必要であり、実践してまいります。

2019 年が実行・実現の起点となるように目指します。

病院理念

私達は「患者さんに選ばれる病院」「職員が誇りをもって働ける病院」を目指します。

基本方針

- 1 私達は自己研鑽に努め、自分の役割を認識し、安心・安全で、良質な医療を提供します。
- 2 私達は患者さんや職員間の対話の量を大切にし、親切・丁寧に対応します。
- 3 私達は救急医療からリハビリテーション・在宅医療まで安心できる診療体制を構築します。
- 4 私達は医療機能を整備し、健全な経営に努めます。

医 師 紹 介

神経内科 ^{おお くま ひろ ひさ} 大 熊 壮 尚



はじめまして。私は、このたびご縁があって、齋藤記念病院で土曜日の外来を担当させて頂くことになった大熊壮尚（おおくま ひろひさ）と申します。

私の専門診療科は、神経内科です。皆様方と関わり合いの多い病状としては、主に頭痛、物忘れ、ふるえ、めまいといった頻度が高いでしょうか。頭痛は、たかが頭痛、されど頭痛であり、適切な薬物療法が必要です。中には脳卒中の前触れとなるような危険な病態を含むこともあり注意を要します。

また近年の高齢化により、認知症を患う方も増えていますが、認知症は発症する前に、物忘れを自覚した時点の評価を行うことで予防も可能です。ふるえは、加齢によっても起りますが、パーキンソン病のような治療対象疾患が隠れていることもあります。めまいは、その90%程度は良性ですが、フワフワしたり、回転したりと症状は多彩で、心配の種となります。特に高血圧を放置したりするとフワフワしためまいを引き起します。

このような身近な症状をお持ちで、脳が心配という方、一度外来に訪れて、気軽に相談して下さい。年だから、まあいいかというのは一昔前の話です。勿論、すべての病状が完璧に治療できるわけではありません。しかし、治るべきものは可能な限り治療し、予防できる場合は迅速に対処する。年齢は関係ありません。皆様方が、いつまでも元気でいられるようなお手伝いができれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

平成4年6月 昭和大学藤が丘病院神経内科入局
／ 14年2月 東海大学病院神経内科入局
／ 18年3月 東海大学にて学位取得
現在 東海大学病院神経内科筋電図検査施行
東海大学八王子病院神経内科専門外来担当

資 格 医学博士 日本内科学会認定医・指導医、神経内科専門医・指導医、頭痛学会認定医・指導医
専 門 神経内科一般、特には頭痛、筋・末梢神経障害

第25回 院内学会開催

実行委員長 小 林 正 人

第25回院内学会が当院療養食堂にて開催され、職員による活動報告等が行われました。

今年は理事長の特別講演もあり、とても中身の濃い院内学会になったと思います。

今回の活動報告等をふまえ、患者さんへより安全で良質な医療を提供できるよう職員間で情報を共有していき、当院が今後とも患者さんに選ばれる病院となるよう努力してまいります。



褥瘡対策委員会紹介

褥瘡委員会 池田敬子

褥瘡対策委員会について御紹介します。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医事課で構成されており、おもな活動内容は褥瘡の予防と治癒促進です。

褥瘡とはいわゆる「床ずれ」のことで、発生要因としては「同一体位による圧迫」「低栄養状態」「おむつでの排泄によるふやけ」などがあります。寝たきりの方はリスクが高くなります。看護師は日々入院患者さんの皮膚ケアを行いながら褥瘡を予防し、発生した方は治療を行っています。薬剤師は適切な薬剤の提供、管理栄養士は栄養管理、理学療法士は身体機能の向上と拘縮予防のための施術とそれぞれの役割を担っています。

委員会内での具体的な活動は毎月1回の褥瘡発生者のカンファレンスです。各病棟・外来から対象者を挙げ、各自の立場から意見を出し合い、対象者を回診して実際目で見て方針を検討し、評価しています。その他最新の情報交換、褥瘡予防具の検討、研修会の開催などです。

最近NST(栄養サポートチーム)を立ち上げました。栄養と褥瘡は切っても切れない関係にあります。褥瘡対策委員の中から研修を受け資格を取得したメンバーが委員会の一部として活動していますが、いずれは独立して活動していく予定です。



職員旅行を終えて



親睦会会長 田伏育恵

今年度の職員旅行は10月に日帰りで上越、11月に一泊で金沢に行ってきました。私は日帰りコースで上越市水族博物館「うみがたり」とアパリゾート上越妙高でイルミネーションの鑑賞ツアーに参加しました。

当日は生憎の雨模様でしたが皆様の日ごろの行いがよく、少しの寒さは感じたものの快適に過ごすことができました。普段、山に囲まれた魚沼の環境では見る機会が少ない「イルカショー」や、県内ではここでしか見ることのできない「シロイルカ」を見たりと、とても貴重な経験をしました。

夜は広大な敷地にLEDを使用して描かれる壮大で幻想的な「イルミネーション」、土曜日限定の「打ち上げ花火」を楽しむことができました。バスの車内や食事も含め普段の業務では交流の少ない他部署の方々と交流を深められ、とても有意義な一日となりました。



目帰り 上越



一泊 金沢



齋藤記念病院 外来医師診察予定

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科		福田 修	福田 修	福田 修	小山新弥	福田 修	福田 修	
乳腺・胸部外科		鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	
肛門・乳腺 消化器外科		廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	
整形・リウマチ科	1診				藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰	完全予約制
	2診	池田三香		池田三香		我田由紀子		完全予約制
神経内科	1診						大熊壮尚	毎週土曜日(第3を除く)
	2診						堅田慎一	第1土曜日のみ
	3診						今野卓哉	第2土曜日のみ

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。

☆診察日等に変更もございますので、電話にてお問い合わせください。

☆乳腺・胸部外科、整形・リウマチ科、神経内科は予約制となっております。お電話での予約又は変更等の問い合わせは、月・火・木・金の午後2:00～5:00の間をお願いいたします。(☎025-773-5111)



◆病院休診日

日曜・祝日、第3土曜日、お盆8/15

開院記念日11/25、年末年始12/30～1/3

平成31年1・2・3月休診日

	日	月	火	水	木	金	土
1	・	・	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	・	・
2	・	・	・	・	・	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	・	・
3	・	・	・	・	・	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

第14回 南魚沼市

縦断駅伝大会に参加しました

駅伝チーム代表 高野 亮

今年より齋藤記念病院公式 T シャツを作成し、駅伝チームをサポートする事となりました。当日は「チーム齋藤記念病院」が大会をピンクの T シャツで染め、たくさんの沿道の方々からも応援をいただきました。その甲斐あって、選手の士気も高まり前年度より 3 分早くゴールする事が出来ました。参加 99 チーム中、62 位と健闘しました。選手・役員・病院応援団は勿論ですが、当日応援してくださった皆様、大変ありがとうございました。



医療法人 齋藤記念病院

齋藤記念病院

〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2
TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024

URL <http://www.saito-memorial.com/>
E-mail soumuka@saito-memorial.com

病床数：98床/一般病棟50床、療養病棟48床
診療科目：脳神経外科、胸部外科、乳腺外科、肛門外科
消化器外科、整形外科、リウマチ科、神経内科
リハビリテーション科